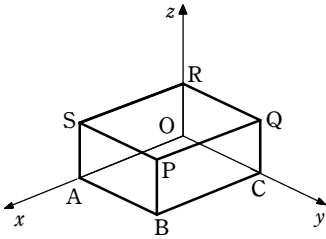


1. 右の図において、点 P の座標が (4, 3, 2) のとき、
直方体 OABC−RSPQ の O, P 以外の頂点の座
標を求めよ。



2. 原点 O と次の点の距離を求めよ。

- (1) (3, −2, 4)
- (2) (−4, −5, 7)

3. 2 点 A (3, *a*, 1), B(1, 4, −3) について、原点 O との距離が等しいとき、*a* の値を求
めよ。

4. 平行六面体 ABCD−EFGH において、 $\overrightarrow{AB}=\vec{a}$, $\overrightarrow{AD}=\vec{b}$, $\overrightarrow{AE}=\vec{c}$ とする。次のベクト
ルを \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。

- (1) \overrightarrow{AF}
- (2) \overrightarrow{CE}
- (3) \overrightarrow{GA}

5. 次のベクトルの大きさを求めよ。

- (1) $\vec{a}=(-2, 5, 1)$
- (2) $\vec{p}=(1, -6, -2\sqrt{3})$

6. $\vec{a}=(1, -2, 3)$, $\vec{b}=(-3, 2, -1)$ のとき、次のベクトルを求めよ。

- (1) $\vec{a}+\vec{b}$
- (2) $\vec{a}-\vec{b}$
- (3) $-2\vec{b}$
- (4) $2\vec{a}+3\vec{b}$
- (5) $-\vec{a}+2\vec{b}$
- (6) $-2(3\vec{a}+8\vec{b})$

7. 原点 O と 3 点 A (1, 2, 4), B(−1, 2, 3), C(0, −3, −2) について、次のベクトルを
成分表示せよ。また、その大きさを求めよ。

- (1) \overrightarrow{AB}
- (2) \overrightarrow{AC}
- (3) \overrightarrow{CB}

8. 次のベクトル \vec{a} , \vec{b} の内積とそのなす角 θ を求めよ。

- (1) $\vec{a}=(1, 1, -1)$, $\vec{b}=(1, -1, \sqrt{6})$
- (2) $\vec{a}=(2, 3, 5)$, $\vec{b}=(2, -3, 1)$
- (3) $\vec{a}=(-3, -9, 6)$, $\vec{b}=(1, 3, -2)$

9. 次のベクトル \vec{a}, \vec{b} が垂直になるように, x の値を定めよ。

(1) $\vec{a}=(2, -8, -3), \vec{b}=(x-2, -4, 3)$

(2) $\vec{a}=(1, 2, x), \vec{b}=(-x^2, 2, 3)$

10. 3 点 A (2, 1, -3), B (-1, 5, -2), C (4, 3, -1) がある。四角形 ABCD が平行四辺形となるときの, 点 D の座標を求めよ。

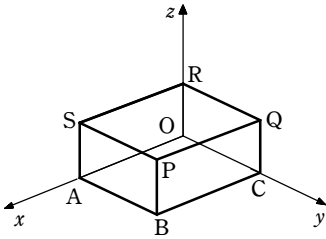
11. $\vec{a}=(1, 2, 3), \vec{b}=(2, -1, 1)$ とする。ベクトル $\vec{a}+t\vec{b}$ の大きさの最小値とそのときの
実数 t の値を求めよ。

12. 2 つのベクトルを $\vec{a}=(1, -2, 2), \vec{b}=(2, 3, -10)$ とする。

(1) $\vec{c}=(x, y, 1)$ が \vec{a}, \vec{b} の両方に垂直であるとき, x, y の値を求めよ。

(2) \vec{a}, \vec{b} の両方に垂直で, 大きさが 9 であるベクトル \vec{d} を求めよ。

1. 右の図において、点 P の座標が (4, 3, 2) のとき、直方体 OABC−RSPQ の O, P 以外の頂点の座標を求めよ。



【解答】 A : (4, 0, 0), B : (4, 3, 0), C : (0, 3, 0), Q : (0, 3, 2), R : (0, 0, 2), S : (4, 0, 2)

【解説】 線分 PB, PQ, PS は、点 P からそれぞれ xy 平面, yz 平面, zx 平面に下ろした垂線である。また、線分 PA, PC, PR は、点 P からそれぞれ x 軸, y 軸, z 軸に下ろした垂線である。
よって、点 A の座標は (4, 0, 0), 点 B の座標は (4, 3, 0),
点 C の座標は (0, 3, 0), 点 Q の座標は (0, 3, 2),
点 R の座標は (0, 0, 2), 点 S の座標は (4, 0, 2)

2. 原点 O と次の点の距離を求めよ。
(1) (3, −2, 4) (2) (−4, −5, 7)

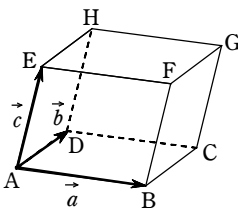
【解答】 (1) $\sqrt{29}$ (2) $3\sqrt{10}$
【解説】
(1) $\sqrt{3^2+(-2)^2+4^2}=\sqrt{29}$
(2) $\sqrt{(-4)^2+(-5)^2+7^2}=\sqrt{90}=3\sqrt{10}$

3. 2点 A (3, a , 1), B (1, 4, −3) について、原点 O との距離が等しいとき、 a の値を求めよ。
【解答】 $a=\pm 4$
【解説】
OA=OB であるから $OA^2=OB^2$
よって $3^2+a^2+1^2=1^2+4^2+(-3)^2$
ゆえに $a^2=16$ したがって $a=\pm 4$

4. 平行六面体 ABCD−EFGH において、 $\overrightarrow{AB}=\vec{a}$, $\overrightarrow{AD}=\vec{b}$, $\overrightarrow{AE}=\vec{c}$ とする。次のベクトルを \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。
(1) \overrightarrow{AF} (2) \overrightarrow{CE} (3) \overrightarrow{GA}

【解答】 (1) $\vec{a}+\vec{c}$ (2) $-\vec{a}-\vec{b}+\vec{c}$ (3) $-\vec{a}-\vec{b}-\vec{c}$
【解説】

(1) $\overrightarrow{AF}=\overrightarrow{AB}+\overrightarrow{BF}=\vec{a}+\vec{c}$
(2) $\overrightarrow{CE}=\overrightarrow{CD}+\overrightarrow{DA}+\overrightarrow{AE}=-\vec{a}+(-\vec{b})+\vec{c}$
 $=-\vec{a}-\vec{b}+\vec{c}$
(3) $\overrightarrow{GA}=\overrightarrow{GH}+\overrightarrow{HE}+\overrightarrow{EA}=-\vec{a}+(-\vec{b})+(-\vec{c})$
 $=-\vec{a}-\vec{b}-\vec{c}$



5. 次のベクトルの大きさを求めよ。
(1) $\vec{a}=(-2, 5, 1)$ (2) $\vec{p}=(1, -6, -2\sqrt{3})$

【解答】 (1) $\sqrt{30}$ (2) 7
【解説】
(1) $|\vec{a}|=\sqrt{(-2)^2+5^2+1^2}=\sqrt{30}$
(2) $|\vec{p}|=\sqrt{1^2+(-6)^2+(-2\sqrt{3})^2}=\sqrt{49}=7$

6. $\vec{a}=(1, -2, 3)$, $\vec{b}=(-3, 2, -1)$ のとき、次のベクトルを求めよ。
(1) $\vec{a}+\vec{b}$ (2) $\vec{a}-\vec{b}$ (3) $-2\vec{b}$
(4) $2\vec{a}+3\vec{b}$ (5) $-\vec{a}+2\vec{b}$ (6) $-2(3\vec{a}+8\vec{b})$

【解答】 (1) (−2, 0, 2) (2) (4, −4, 4) (3) (6, −4, 2) (4) (−7, 2, 3)
(5) (−7, 6, −5) (6) (42, −20, −2)

【解説】
(1) $\vec{a}+\vec{b}=(1, -2, 3)+(-3, 2, -1)$
 $=(1-3, -2+2, 3-1)$
 $=(-2, 0, 2)$
(2) $\vec{a}-\vec{b}=(1, -2, 3)-(-3, 2, -1)$
 $=(1-(-3), -2-2, 3-(-1))$
 $=(4, -4, 4)$
(3) $-2\vec{b}=-2(-3, 2, -1)=(-2\times(-3), -2\times 2, -2\times(-1))$
 $=(6, -4, 2)$
(4) $2\vec{a}+3\vec{b}=2(1, -2, 3)+3(-3, 2, -1)$
 $=(2, -4, 6)+(-9, 6, -3)$
 $=(-7, 2, 3)$
(5) $-\vec{a}+2\vec{b}=-(1, -2, 3)+2(-3, 2, -1)$
 $=(-1, 2, -3)+(-6, 4, -2)$
 $=(-7, 6, -5)$
(6) $-2(3\vec{a}+8\vec{b})=-6\vec{a}-16\vec{b}=-6(1, -2, 3)-16(-3, 2, -1)$
 $=(-6, 12, -18)+(48, -32, 16)$
 $=(42, -20, -2)$

7. 原点 O と 3 点 A (1, 2, 4), B (−1, 2, 3), C (0, −3, −2) について、次のベクトルを成分表示せよ。また、その大きさを求めよ。
(1) \overrightarrow{AB} (2) \overrightarrow{AC} (3) \overrightarrow{CB}

【解答】 (1) (−2, 0, −1), $\sqrt{5}$ (2) (−1, −5, −6), $\sqrt{62}$
(3) (−1, 5, 5), $\sqrt{51}$

【解説】
(1) $\overrightarrow{AB}=(-1-1, 2-2, 3-4)$
 $=(-2, 0, -1)$
よって $|\overrightarrow{AB}|=\sqrt{(-2)^2+0^2+(-1)^2}=\sqrt{5}$
(2) $\overrightarrow{AC}=(0-1, -3-2, -2-4)$
 $=(-1, -5, -6)$
よって $|\overrightarrow{AC}|=\sqrt{(-1)^2+(-5)^2+(-6)^2}=\sqrt{62}$
(3) $\overrightarrow{CB}=(-1-0, 2-(-3), 3-(-2))$
 $=(-1, 5, 5)$
よって $|\overrightarrow{CB}|=\sqrt{(-1)^2+5^2+5^2}=\sqrt{51}$

8. 次のベクトル \vec{a} , \vec{b} の内積とそのなす角 θ を求めよ。
(1) $\vec{a}=(1, 1, -1)$, $\vec{b}=(1, -1, \sqrt{6})$ (2) $\vec{a}=(2, 3, 5)$, $\vec{b}=(2, -3, 1)$
(3) $\vec{a}=(-3, -9, 6)$, $\vec{b}=(1, 3, -2)$

【解答】 (1) $-\sqrt{6}$, $\theta=120^\circ$ (2) 0, $\theta=90^\circ$ (3) −42, $\theta=180^\circ$

【解説】
(1) $\vec{a}\cdot\vec{b}=1\times 1+1\times(-1)+(-1)\times\sqrt{6}=-\sqrt{6}$
よって $\cos\theta=\frac{\vec{a}\cdot\vec{b}}{|\vec{a}||\vec{b}|}=\frac{-\sqrt{6}}{\sqrt{1^2+1^2+(-1)^2}\sqrt{1^2+(-1)^2+(\sqrt{6})^2}}$
 $=\frac{-\sqrt{6}}{\sqrt{3}\cdot 2\sqrt{2}}=-\frac{1}{2}$
 $0^\circ\leq\theta\leq 180^\circ$ であるから $\theta=120^\circ$
(2) $\vec{a}\cdot\vec{b}=2\times 2+3\times(-3)+5\times 1=0$
よって $\cos\theta=\frac{\vec{a}\cdot\vec{b}}{|\vec{a}||\vec{b}|}=0$
 $0^\circ\leq\theta\leq 180^\circ$ であるから $\theta=90^\circ$
(3) $\vec{a}\cdot\vec{b}=-3\times 1+(-9)\times 3+6\times(-2)=-42$
よって $\cos\theta=\frac{\vec{a}\cdot\vec{b}}{|\vec{a}||\vec{b}|}=\frac{-42}{\sqrt{(-3)^2+(-9)^2+6^2}\sqrt{1^2+3^2+(-2)^2}}$
 $=\frac{-42}{3\sqrt{14}\cdot\sqrt{14}}=-1$
 $0^\circ\leq\theta\leq 180^\circ$ であるから $\theta=180^\circ$

9. 次のベクトル \vec{a}, \vec{b} が垂直になるように、 x の値を定めよ。

(1) $\vec{a}=(2, -8, -3), \vec{b}=(x-2, -4, 3)$

(2) $\vec{a}=(1, 2, x), \vec{b}=(-x^2, 2, 3)$

【解答】 (1) $x=-\frac{19}{2}$ (2) $x=-1, 4$

【解説】

(1) $\vec{a} \perp \vec{b}$ になるための条件は $\vec{a} \cdot \vec{b}=0$

よって $2 \times (x-2) + (-8) \times (-4) + (-3) \times 3 = 0$

これを解いて $x = -\frac{19}{2}$

(2) $\vec{a} \perp \vec{b}$ になるための条件は $\vec{a} \cdot \vec{b}=0$

よって $1 \times (-x^2) + 2 \times 2 + x \times 3 = 0$

整理すると $x^2 - 3x - 4 = 0$ ゆえに $(x+1)(x-4) = 0$

したがって $x = -1, 4$

10. 3点 A(2, 1, -3), B(-1, 5, -2), C(4, 3, -1)がある。四角形 ABCD が平行四辺形となるときの、点 D の座標を求めよ。

【解答】 (7, -1, -2)

【解説】

点 D の座標を (x, y, z) とすると、 $\overrightarrow{AD} = \overrightarrow{BC}$ から

$(x-2, y-1, z-(-3)) = (4-(-1), 3-5, -1-(-2))$

よって $x-2=5, y-1=-2, z+3=1$

ゆえに $x=7, y=-1, z=-2$

したがって、点 D の座標は (7, -1, -2)

11. $\vec{a}=(1, 2, 3), \vec{b}=(2, -1, 1)$ とする。ベクトル $\vec{a}+t\vec{b}$ の大きさの最小値とそのときの実数 t の値を求めよ。

【解答】 $t=-\frac{1}{2}$ のとき最小値 $\frac{5}{\sqrt{2}}$

【解説】

$\vec{a}+t\vec{b}=(1, 2, 3)+t(2, -1, 1)=(1+2t, 2-t, 3+t)$

よって $|\vec{a}+t\vec{b}|^2=(1+2t)^2+(2-t)^2+(3+t)^2=6t^2+6t+14$

$=6\left\{t^2+t+\left(\frac{1}{2}\right)^2\right\}-6\cdot\left(\frac{1}{2}\right)^2+14=6\left(t+\frac{1}{2}\right)^2+\frac{25}{2}$

ゆえに、 $|\vec{a}+t\vec{b}|^2$ は $t=-\frac{1}{2}$ のとき最小値 $\frac{25}{2}$ をとる。

$|\vec{a}+t\vec{b}| \geq 0$ であるから、このとき $|\vec{a}+t\vec{b}|$ も最小となる。

よって $t=-\frac{1}{2}$ のとき最小値 $\sqrt{\frac{25}{2}}=\frac{5}{\sqrt{2}}$

12. 2つのベクトルを $\vec{a}=(1, -2, 2), \vec{b}=(2, 3, -10)$ とする。

(1) $\vec{c}=(x, y, 1)$ が \vec{a}, \vec{b} の両方に垂直であるとき、 x, y の値を求めよ。

(2) \vec{a}, \vec{b} の両方に垂直で、大きさが 9 であるベクトル \vec{d} を求めよ。

【解答】 (1) $x=2, y=2$ (2) $\vec{d}=(6, 6, 3), (-6, -6, -3)$

【解説】

(1) $\vec{c} \perp \vec{a}$ から $\vec{c} \cdot \vec{a}=0$

よって $x \cdot 1 + y \cdot (-2) + 1 \cdot 2 = 0$ ゆえに $x - 2y + 2 = 0$ …… ①

$\vec{c} \perp \vec{b}$ から $\vec{c} \cdot \vec{b}=0$

よって $x \cdot 2 + y \cdot 3 + 1 \cdot (-10) = 0$ ゆえに $2x + 3y - 10 = 0$ …… ②

①, ② を解いて $x=2, y=2$

(2) (1) から $\vec{c}=(2, 2, 1)$

ここで $|\vec{c}|=\sqrt{2^2+2^2+1^2}=3$

\vec{d} は \vec{c} に平行であり、 $|\vec{d}|=9$ であるから $\vec{d}=\pm 3\vec{c}$

よって $\vec{d}=(6, 6, 3), (-6, -6, -3)$